

# CONTENTS

page.1

## 園長コラム

「信楽学園でのとくみを通して、  
社会人として必要な力をつけよう」  
園長 坂本 ゆかり

page.2 - 3

## 信楽学園の1日

「学ぶ」「体験する」  
「食す」「遊ぶ」「帰る」

page.4

## 演劇発表会

「アサヒの魔法つかい」

森口 華帆

フレッシュさん

森 澄雄

職員の宝もの

安藤 宗純

編集後記

今村 拓生



社会福祉法人グロー  
滋賀県社会福祉事業団と  
オープンスペースレガートが  
ひとつになりました

www.glow.or.jp

グローのホームページからニュースレターの  
バックナンバーがご覧いただけます。



# 信楽学園

ニュースレター  
Newsletter  
from Shigaraki Gakuen

## Vol.18

SPRING 2024

## 園長コラム 信楽学園でのとくみを通して、社会人として必要な力をつけよう

～滋賀県立信楽学園を今一度、知ってもらおう活動を～

### 「学校？」

いえいえ「福祉型障害児入所施設です」という種別から説明しながら、何をしている施設なのか、いろいろなところで発信してきたつもりでした。しかし、ここ数年で、信楽学園に入園する児童数は年々減少傾向にあります。この理由としては、全体の児童数の減少とともに滋賀県下における中学3年生で知的障害を主たる障害とする児童に関して、高等学校が積極的な受け入れと教育が充実してきていること、養護学校中学部の進路先の充実や高等養護学校が開校され、進路の幅が広がってきていることが考えられます。

利用児童数の減少は、上記の社会状況の変化だけを理由にしないで、減少傾向であることをどう捉えるのかを真剣に考え、「信楽学園のこと、滋賀県のみなさんに知ってもらえているだろうか？」という思いを抱き、発信力が足りないのかもしれないと思った経緯があります。

### 信楽

学園は、軽度から中度の知的障害のある児童（おおむね15歳から18歳）を主として受け入れながら、18歳成人を迎えるまでには、社会生活が豊かに安定して送ることができるように、職業支援活動（作業活動や職場実習）や生活自立に向けた生活支援活動を日常的に行っている施設です。

また生活については、寮生活となりますが、週末は自宅に帰省も可能であり、「3年間ずっと寮生活でしんどい」という入所施設のイメージとは少し違い、ゴールデンウィーク休暇や夏休み・冬休み・春休みも10日程度休暇があります。

### 寮

生活だからこそ獲得できることも多く、仕事をする上で欠かせない「生活リズムの確立」や「健康管理」をはじめ、いずれ一人暮らしをするための生活力（掃除・洗濯・買い物・金銭管理など）も経験することができ、力が備わっていきます。

毎日、職業支援活動だけではなく、経験不足を補う社会体験プロジェクト（楽しくとりくめるもの）や文化・スポーツ活動も実施しています。

最近では、知的障害を主たる障害としながらも発達障害を併せもつ子も増加していますので、障害の状況に合わせた理解しやすい支援なども年々検討しながら取り入れています。子どもたちの活動を子どもたちと一緒に確認し分析しながら、自分の「強み」が視覚的にわかるツールもほぼ完成し、実践段階です。

### 卒園後

は、一般就労（障害者雇用が主）に就職する子どもも多く、卒園後のアフターフォローも希望されれば地域の関係機関と連携し、引き続き支援を行っています。すぐに一般就労が難しい場合は、少し先の将来像を見据えたくうえで、地域の関係機関と連携しながら障害福祉サービス（就労移行支援や就労継続支援A型・B型など）の利用開始を支援しながら、一般就労に繋がることができるように地域移行も丁寧に支援しています。日々の活動に併せて、保護者の方や関係機関と一緒に子どもたちのことを考えながら、成人期を迎える前の大事な3年間を充実したものとなるようにと思っています。現在利用されている保護者の方や子どもたちについては、職員と話す機会や体験する機会をたくさんつくっていきましょう。

### 中学生

卒業後の進路を検討するにあたり、信楽学園について情報が必要な方は、ぜひ、お問い合わせください。

中学校や地域の関係機関、児童相談所を通じて見学や体験を希望していただいても、直接お問い合わせいただいても対応いたします。

【園長 坂本ゆかり】

今回のニュースレター VOL.18は、「信楽学園の1日」を掲載しています。また、VOL.16は、「信楽学園の3年間」を掲載し、卒園生の声も載せていますので是非ご覧ください。

（社会福祉法人グローのホームページ⇒信楽学園⇒ニュースレターで、今までのニュースレターを見ていただくことができます）



# 信楽学園の1日



A day  
at  
Shigaraki  
gakuen



朝食

行ってきまーす!

(町内実習へ)



園内作業



昼食

学園内で美味しい  
温かいご飯を  
作っています

07:00

08

09:00

10

11

12:00

13:00



寮の掃除

寮の決められた場所の  
掃除をします  
掃除のマニュアルも  
あります



朝礼



日中活動

継続して働く力をつけること  
作業力向上等を目的として、  
園内作業と町内実習があります



町内実習



園内作業

昼からも日中活動があります

# 学ぶ



就職や今後の生活に必要な知識やスキルを  
学ぶ機会として

エス エル  
**S・L** ソーシャル・ラーニング  
(Social・Learning)

という取り組みを行っています。

これまでには“人との距離感”や“身だし  
なみ”等 様々な内容について、子どもたち、  
職員、時には外部から講師の方をお招きし、  
一緒になって話し合い、考え、知る機会とし  
ています。その時々に合わせて色々な内容を  
提供しています。

# 体験する



信楽学園では、在籍中にたくさんの経験を  
してもらい、卒園後の社会での生活に活か  
していくために

**社会体験プロジェクト**

を実施しています。

グループや個別での取り組みを実施しています。

これからも子どもたち一人ひとりの経験値を  
高められ、新たな社会生活に向けての見通しが  
持てる第一歩となるよう取り組んでいきます。

Experience

Learning



スポーツ・文化・音楽活動



夕食



入浴～自由時間

14

15:00

16:00

17

18:00

19

20

21:00



町内実習



自由時間



ホームルーム

寮のみんな  
で予定の確認や  
お話をします  
(10分程度)

消灯時間

各居室で  
過ごします

# 食す



## 食育

講座や調理実習を通して、食に対する興味関心を持ち、郷土料理や伝統的な食文化等について知識と理解を深めることを目的として取り組んでいます。

卒園後も続けて栄養バランスの良い食事ができるような食育活動を行っています。

1・2年目で栄養バランスの良い食事について学び、3年目に一人で献立作成をし、予算内でお買い物をして実際に作って食べる取り組みをしています。

Food education

# 遊ぶ

Play



BBQ

クリスマス会では  
コース料理を食べました

# 帰る

## Homecoming



保護者と相談し希望する人は毎週末帰省することができます。公共交通機関（電車やバス）を利用して、自宅に帰ります。職員は草津駅まで同行します。

# 演劇発表会「アサヒの魔法使い」



2024年3月2日(土)@陶芸の森にて、演劇発表会を行いました。

**1** 回目のホール練習まで練習する時間がなく、大丈夫なのだろうかと思いましたが、当日の練習で「声出し」を行うとしっかりと声が出ている子どもたちが多く、「頼もしい、これは本番も上手くいくのでは。」と感じました。自分自身でこういう風に演技しようかなと思っていることが感じられる子どもや、昨年から見えて成長を感じた子ども、自分からこの役もしますと言いにきた子どももいました。幸先良く思えたが、新型コロナウイルス感染症が学園内で拡大し3月に延期となってしまいました。延期になったことに対する不安に加えて、舞台に立つことへの不安などを子どもたちは感じていたと思います。職員も日程調整などに追われていました。それでもそれぞれが自分の役に向き合い、努力して、演劇をより良いものにとしようとされていました。本番が近づくにつれてやる気を出していく姿が見られました。セリフを覚えなければいけない子どもたちはセリフをちゃんと覚えられようかと心配していましたが、前日のリハーサルでは頑張っただけで台本を見ずに演じようとする姿が見られ安心しました。日に日に良いものが出来上がっていきました。

**当** 日ホールに着いた後、本番までの時間は写真を撮ってもらって楽しそうにしている子どももいれば緊張している子どももいました。保護者や卒園生が見守る中での演劇発表会はみんな素晴らしいものを見せてくれました。それぞれ上手いところ・いかなかったところもあったと思いますが、上手いかななくとも持ち直し演技を続けてくれました。よく頑張ってくれました。終わった後の表情はみんな晴れやかで、本番が終わったことへの安心感や達成感が見られました。

**本** 番を迎えるまで様々なことがあり、みんな不安を抱えていたと思いますが、本番ではそんな不安を感じることなく、楽しく素敵な演劇を見せてくれました。学園に戻ってきた後、職員で集まり演劇発表会について「すごく良かった。」「楽しかった。」と感想を話していました。私も裏方として当日演劇をサポートして楽しかったです。学園全体で頑張った演劇発表会でした。【森口華帆】

## フレッシュさん

もり すみお  
森 澄雄さん



11月より信楽学園の調理員として勤務しています。森澄雄です。昨年の12月まで大手工場の調理をしていましたが、定年を迎えシニア勤務を経て退職をしました。7月に草津市より甲賀市に引っ越ししてきました。体の方も元気なので、今までの調理経験が活かされると思い応募しました。職場の方もとても親切に指導をして頂き、話しやすく楽しく仕事をさせて頂いています。早く独り立ちが出来るように、またおいしい食事で少しでも皆さんに役立つ様な仕事をしていきますので、宜しくお願いいたします。ちなみに家族は4人とネコが1匹で、家庭菜園をしており、白菜・大根・キャベツ・うずい豆がすくすく育っています！

## 職員の宝もの

### 安藤さんの「ヴィンテージ」

“ヴィンテージ”と言う言葉にはめっぽう弱い私は、古くてストーリーがあるものを非常に好んで収集する癖があります。初めて買った物はもう思い出すのが難しいのですが、きっと自宅の何処かで眠っている事でしょう。それ程に色々あるのです。その中で2つほど紹介します。



まず1つ目が【Fire King エキストラヘビーマグ 1953年】コーヒーを美味しく淹れたい、飲みたい!と思ったのがきっかけで、その当天下宿していた京都中のアンティークショップを探し回った記憶があります。もう15年程愛用している大切なマグです。70年も形を残して現代で使用されているのにロマンを感じずにはいられないですね。毎回コーヒーを入れる際には愛でている、僕の身近な宝物です。



続いて2つ目が【Red Wing ショートエンジニアブーツ】大学時代の友達がこのブーツを履きつぶしているのを見惚れて、その当時の彼女に誕生日プレゼントとして買って貰ったブーツです。嬉しすぎて365日、足元はこのブーツでした。ソール交換を何度も繰り返し、今でも大事に履いている相棒です。たまにカビが生えるのがネックです。自分の持ち物の中で一番付き合いが長く17年は一緒に過ごしています。「どうせ2、3年で履かなくなると考えていたし、ずっと履くとか嘘やと思っていたわ」と、うちの妻は今でもこのブーツを見るとその当時の事をぼやいています。いずれヴィンテージに成るこのブーツは一生の宝物です。

## 編集後記

ニュースレターを見返すと今年で10年目に突入していました。その中で「ニュースレター vol.1 「夢と希望を育む学園でありたい」という園長の言葉から始まり、前号の「やってみようかなとチャレンジする気持ち育てたい」という園長コラムを合わせて読むと、子どもたちの姿や子どもたちの考える夢や思いが変わり続ける現在であっても、本人の気持ちに合わせた思いは10年経っても変わらないと改めて感じました。彼たちの夢って何なのか、その気持ちを置いてきぼりにして支援をするよりも、チャレンジする中で一緒に夢に近づく支援をしたいと思えます。【今村拓生】

## 信楽学園 ニュースレター Vol.18

滋賀県立 信楽学園

〒529-1812 滋賀県甲賀市信楽町神山4 7 0

☎0748-82-0051 / email : shigarakigakuen@glow.or.jp

編集・発行

社会福祉法人 グロー

g|low

～生きることが光になる～  
www.glow.or.jp

こちらからバックナンバーも読めます▶

